

2011年3月11日に起きた東日本大震災は原子力発電所の大事故を誘発し、未曾有の国難となってしまいました。NPO 法人地球環境・共生ネットワーク（略称U-ネット）は、災害発生と同時にEM研究機構、EM生活、公益財団法人自然農法国際研究開発センター、EM研究所、SPCジャパン、その他、多数のEMボランティアの協力を得てEMによる被災地の支援プロジェクトを全域的に広げ、緊急時の危機管理に多大な成果を上げ、引き続きEMによる環境問題の解決と産業振興への支援と協力を行っています。

特に、福島県における放射能汚染対策については、絶望的にならないように、あらゆる手を尽し努力する以外に方法はないと思われています。しかし、EMが作物の放射性物質の吸収を著しく抑制することは1997年にわかっていますし、また、EM飲料によって内部被曝問題が完全に解消できることやEMの土壌散布によって年々、15～35%もの放射線を低減させることも2002年までに明らかとなっています。いずれも、チェルノブイリ原発事故の被災地になったベラルーシ国立放射線生物学研究所とEM研究機構の共同研究によるものです。

U-ネットでは、それらの情報に基づき、EM関係者の協力を得て、2011年3月18日には、その情報を公開し、福島県内に放射能汚染対策の支援プロジェクトを次々に立ち上げ、多くのボランティアの協力を得て多大の成果を上げています。そのプロジェクトはEMを大量に培養できるシステムを設置し、賛同する住民へのボランティア支援として行っていますが、福島県以外のホットスポットを含め35ヶ所以上に広がっています。

本フォーラムでは、福島県はもとより関東々北のホットスポット地域で得られたEM技術による放射能汚染対策の成果とタイ国の大洪水の際に衛生対策に顕著な効果を発揮したEMの活用法およびベラルーシで得られた最近の知見を発表してもらい、環境問題の本質的な解決につながる情報を共有したいと思います。

限られた時間のため、発表件数はかなりしぼり込んでしまいましたが本資料には発表できなかった各地の情報も加えています。EMによる放射能汚染対策に関する情報は日進月歩です。U-ネットではふくしまFMでEMによる放射能汚染対策の情報を「うつくしまEMパラダイス」という番組（毎週月曜日、13時48分～13時55分）で公開し、種々のボランティア対応を行っています（詳細は本誌発行元U-ネットにお問合わせください）。

今回は福島県における放射能汚染対策の第1回のフォーラムとなりますが、今後は必要に応じて年に2回をめぐりに持ちまわりのフォーラムも計画しています。最後に、本フォーラム開催にあたって御協力いただいた関係者の皆様に心から感謝申し上げますと同時に、福島県が「うつくしまEMパラダイス」になることを期待しています。